

## 2026日本ストックホルム青少年水大賞 (ストックホルム青少年水大賞日本代表選考会) 募集要項

### 1. 日本ストックホルム青少年水大賞の目的

水質汚濁、水資源の不足、洪水災害などの水問題は、21世紀が水の世紀になるといわれるほど国際的に大きな課題になっています。そのため、すでに国内はもとより、世界各国の関係するあらゆる分野で国際的な協力の下に様々な取り組みが進められています。これらの国際的、かつ総合的な取り組みが、持続可能な水資源の管理にとって必要不可欠であり、将来を担う青少年の水問題に対する理解と努力に大きな期待が寄せられています。

日本においても、近年は水環境問題に対する児童、生徒の関心が高くなり、学校や地域社会で環境保全のための有意義な活動が活発に行われるようになりました。高校においては、実践的な社会活動とともに、水質保全、河川生態、水資源管理などの川や水に関する学術的な調査研究も積極的に実施されています。その結果、これまでの日本水大賞においても高等学校から多くの応募があり、受賞の栄に輝いています。

一方、スウェーデンにおいては、ストックホルム国際水研究所が、世界的に権威のあるストックホルム水大賞の一環としてストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズ（以下SJWPという）を実施しています。そこでは世界各国の青少年を対象にして水質、水資源管理、水域の保護、浄水・排水処理、水教育、水の社会的側面の改善に寄与する調査研究活動を表彰しています。このSJWPの国際コンテストは、ストックホルムにおいて毎年夏の世界水週間の期間中に行われ、各国から選出された代表者が、調査研究の成果を発表して受賞者が決定されています。

そこで2002年から日本水大賞の中に日本ストックホルム青少年水大賞を設け、SJWPに派遣する候補を選定しています。本賞の実施にあたり日本水大賞委員会が、企画・運営・審査を行っています。

### 2. 募集の対象

#### 2-1. 応募者の条件

国際コンテスト開催時に20歳以下で、高等学校または同等の学校（高等専門学校については1～3年生まで）に在籍している生徒が応募できます。学校・団体としての応募も、個人としての応募もともにできます。

大学生（高等専門学校については4年生以上）は、20歳以下であっても応募はできません。但し、高等学校等を卒業して国際コンテストの参加時に大学生であっても、高等学校等在籍時に実施したプロジェクトの実施者に限り参加は可能です。

#### 2-2. 応募活動の内容

日本ストックホルム青少年水大賞は、地球温暖化により深刻化する洪水や渇水への対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活や社会の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的な調査研究活動を対象とします。なお、方法、実験、観測、結果報告、統計解析を含めた論議において科学的に妥当な手法を用いてください。日本水大賞に応募した課題（プロジェクト）も、応募条件を満たしていれば応募できます。

### 3. 日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた作品の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与します。

大賞【グランプリ】：賞状・副賞20万円、国際コンテストへの参加費用（詳細は9－4参照）

優秀賞：賞状・副賞10万円

審査部会特別賞：賞状・副賞10万円

### 4. 応募方法

#### 4－1. 提出書類

ワードやPDFで作成した電子データ（CDなど）と紙に出力した書類を提出してください。

応募用紙の取得は、ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



#### ①日本ストックホルム青少年水大賞申請書

A4サイズ用の紙に以下の事項を記載してください。

- ・調査研究の課題（フリガナ）
- ・学校名（フリガナ）
- ・学校の住所（フリガナ）、電話番号、E-mail
- ・指導教員などの氏名（フリガナ）
- ・応募者の氏名、団体・学校名。（学校・団体としての応募の場合は、団体・学校名の下に代表者2名以内の氏名（フリガナ）を記載してください。
- ・個人としての応募の場合は氏名（フリガナ）、住所（フリガナ）、連絡先電話番号など、電子メールアドレス
- ・代表者あるいは応募者の生年月日とできれば性別（団体・学校の場合は、代表者2名以内）
- ・代表者あるいは応募者の略歴と将来の志望（団体・学校の場合は、代表者2名以内）
- ・代表者あるいは応募者の過去の受賞歴
- ・代表者2名以外に共同研究者がいる場合には、氏名などを記載することができます。ただし、国内の二次審査（発表と面接）、国内での表彰式での発表、国際大会への参加と発表は、代表者2名以内で行ってください。ただし、指導教員など1名が随行することはできます。

#### ②調査研究報告書

報告書は次のような章立てが原則ですが、多少の変更は可能です。

表紙（表題、学校名、代表者などの氏名、指導教員などの氏名）

和文要旨（500字以内）英文要旨（300語以内）、キーワード（和文と英文5語以内）

序論、略号など一覧、研究の材料と方法、結果、考察（どのような水問題を解決するかを含めることが望ましい）、結論（なくてもよい）、参考文献、謝辞（プロジェクトを援助してくれた人の氏名と所属など、援助の内容、感謝の言葉）、補充資料

スタイルなど

報告書はA4の用紙（標準余白）に日本語あるいは英語で書いてください。10ページ程度にまとめてください。図表や写真は判りやすいサイズで、本文中の適当な位置に貼り込んでください。日本語の場合は、縦方向横書きで1ページに40字40行、書体は明朝体、10.5ポイントを基本とします。

英文の場合は、同じ用紙設定で、行間1.5、Times系の12ポイントを基本とします。

## 4-2. その他

ホームページでは、日本ストックホルム青少年水大賞の過去の各賞受賞作品を公開しています。日本水大賞委員会が、ご応募いただいた書類を基に、広報等のための資料を作成、公表することを妨げないものとします。また、入賞作品についてはホームページ上で公開いたします。ご応募いただいた書類、資料は返却いたしません。

※応募により取得した個人情報、個人情報保護に関する法律の法令および関係法令を遵守します。

## 5. 募集期間

令和7年4月1日～9月30日（郵送の場合は当日消印有効）

## 6. 審査の方法

水分野の専門家によって構成される審査部会において書面審査し、上位数チームが選ばれます。次にその上位数チームを対象に二次審査を行います。

（ご応募いただいた学校には、事務局より二次審査日などを連絡します。）

## 7. 審査基準

### 7-1. 一次審査（書面）

以下の基準（ストックホルム青少年水大賞に準拠）に従って書面審査が行われ、上位数チームが選出されます。

#### ○妥当性

- ・プロジェクトは、水が抱える重要な課題に的確に取り組んでいるか
- ・科学的妥当性があるか（基礎研究、応用研究に相当する科学的水準に達しているか。また結果が直接現場で利用できるか）
- ・プロジェクトは、環境または生活の質の向上に貢献している内容か
- ・プロジェクトは、未解決の問題に新しい解決法を提案しているか
- ・水問題に対する意識を高めるものであるか
- ・環境問題と社会問題を融合する内容であるか

#### ○独創性（プロジェクトには、以下に関する独創性がみられるか）

- ・着眼点
- ・問題解決の方法
- ・データ解析
- ・実験あるいは調査
- ・実社会での問題提起・啓発

#### ○方法論

- ・明確な発想に基づいて結果を得ようとしているか
- ・問題点は明確にされているか
- ・問題点をどのように限定しているか
- ・それによって作業が計画されているか
- ・結論を裏付けする十分なデータがあるか
- ・データの解釈を違える可能性が考慮に入れられているか
- ・調査を継続するための新たな疑問や提案があるか

○テーマに関する知識（関連分野の文献や実施中の調査にどの程度、精通しているか）

- ・ 調査研究はどのような出典に基づいているか
- ・ 参考文献の一覧表は適切か（参考文献は実際に利用されたのか）
- ・ 科学に関する一般的な情報源をどの程度、参考にしているか
- ・ 取り上げたテーマに精通しているか
- ・ 取り上げた分野での最新の調査研究や専門用語について知識があるか
- ・ 本研究成果以外にも代替的な解決策を知っているか

○実用技術

- ・ 保護者、教師、専門家からはどのような支援を受けたか
- ・ 実験、測定などをおこなったか
- ・ 学校で入手可能な材料（知識・道具・設備）を利用したか
- ・ 利用可能な技術が十分に活用されているか

○報告書

- ・ プロジェクトを正しく適切に表現できているか
- ・ 報告書で使用した文章、イラスト、図表、語彙は適切であるか

## 7-2. 二次審査（発表と質疑応答）

以下の審査基準に従って、一次書面審査で選出された上位数チームに対し、2分程度の概要説明（英語）、10分程度のプレゼンテーションソフトでの発表と質疑応答による審査が行われます（日本語あるいは英語）。審査地は東京（予定）で生徒2名以内、指導教員など1名の規定の旅費（遠隔地の場合は規定の宿泊費）を日本水大賞委員会が負担します。

○プレゼンテーションソフトによる発表と質疑応答

- ・ プレゼンテーションによる活動発表内容は正しく表現できているか
- ・ プレゼンテーションと報告書に適切な関係があるか
- ・ プレゼンテーションに独創性や個性があるか
- ・ 魅力的なプレゼンテーションであるか

## 8. スケジュール

|      |                 |                      |
|------|-----------------|----------------------|
| 令和7年 | 4月 1日           | 募集開始                 |
|      | 9月30日           | 応募締め切り（郵送の場合は当日消印有効） |
|      | 10月下旬～11月上旬（予定） | 一次審査（書面）             |
|      | 11月下旬～12月上旬（予定） | 二次審査（発表、質疑応答）        |
| 令和8年 | 3月中旬～ 4月上旬（予定）  | 各賞の受賞者の決定・発表         |
|      | 6月中旬～ 7月上旬（予定）  | 表彰式および受賞活動発表会        |
|      | 8月上旬～ 9月上旬（予定）  | SJWP国際コンテスト参加        |

※上記のスケジュール等は変更場合があります。変更が生じた際は、日本ストックホルム青少年水大賞のホームページでお知らせいたします。

日本ストックホルム青少年水大賞ホームページ  
<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



## 9. S JWPについて

### 9-1. S JWP国際コンテスト

国際コンテストは、毎年夏、世界水週間の期間中にストックホルムで開催されます。この間、各国から選出された候補者は約1週間ストックホルムに招待されます。これらの候補者は、事前に英文報告書を提出し、国際コンテストの期間中には、調査研究を紹介するポスターやDigital-Poster(デジタルのタッチスクリーン)等を使用して審査員に説明し、質問に答える必要があります(この際、必要に応じて指定の通訳が用意されます)。

### 9-2. S JWPの賞金

S JWPの優勝者には15,000USドル、学校には5,000USドル、優秀賞には3,000USドルの賞金が贈られます。(2023年実績)

### 9-3. 審査

審査は水分野の専門家からなる国際選考委員会により行われ、次の4段階があります。

- 1) 英語論文の検討
- 2) 事前審査
- 3) 国際コンテスト会場において生徒と面談し、調査研究についてインタビューする。  
(1組2～3人の審査員の前で、研究発表5分と質疑応答10分を計15分以内で3回行う)
- 4) 審査基準に基づく大賞受賞作品の決定  
※審査方法について、変更となる可能性があります。

### 9-4. 費用負担

国際コンテストに参加するために、日本水大賞委員会は以下の費用を規定により負担します。

- ・国際コンテストに提出する調査研究報告書の英文翻訳(必要に応じて)
- ・受賞者2名以内および指導教員1名のストックホルム渡航滞在費用

### 9-5. その他

S JWPの詳細は、日本ストックホルム青少年水大賞のホームページを参照してください。

<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



## 10. 主催等

### 10-1. 主催

日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下  
委員長 毛利 衛

### 10-2. 後援

内閣官房水循環政策本部、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、公益財団法人河川財団、公益社団法人環境科学会、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人砂防学会、一般社団法人水底質浄化技術協会、一般社団法人水文・水資源学会、スウェーデン大使館、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、一般社団法人全国治水砂防協会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国都道府県教育委員会連合会、特定非営利活動法人全国水環境交流会、一般社団法人地域環境資源センター、電気事業連合会、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本河川協会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人日本下水道協会、地方共同法人日本下水道事業団、一般社団法人日本工業用水協会、公益社団法人日本港湾協会、公益財団法人日本自然保護協会、一般社団法人日本森林学会、公益社団法人日本水道協会、日本生活協同組合連合会、一般財団法人日本ダム協会、公益社団法人日本地下水学会、公益社団法人日本水環境学会、公益財団法人日本野鳥の会、日本陸水学会、公益社団法人農業農村工学会、独立行政法人水資源機構、読売新聞東京本社

### 10-3. 協賛

株式会社建設技術研究所、株式会社東京建設コンサルタント、日本工営株式会社、パシフィックコンサルタント株式会社、いであ株式会社、八千代エンジニアリング株式会社、応用地質株式会社、共和コンクリート工業株式会社、「川の日」実行委員会

### 11. 送付先・問い合わせ先

公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階

TEL 03-3238-9771

URL <http://www.japanriver.or.jp/sjwp/> E-mail [taisyo@japanriver.or.jp](mailto:taisyo@japanriver.or.jp)

日本水大賞委員会事務局 担当 (平日9:15~17:30)

〈本事業は、公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています〉